

研究課題番号	SⅡ-6-3
研究課題名	全球モデルを利用した水銀の生物蓄積及び生物曝露評価手法に関する研究
研究実施期間	2020年度～2022年度
研究機関名	(国研) 国立環境研究所
研究代表者名	武内 章記

1. 委員の指摘及び提言概要

目標通りの成果を上げている。海洋と大気の水銀濃度のモデル予測の結果をもとに、海洋生物中のメチル水銀の評価をしており、非常に有益な結果が出ていると考えられる。魚類中の水銀濃度について栄養段階と水銀濃度の関係を整理しており、外洋回遊魚ほど濃度上昇の生じていることを明らかにしている。北大平洋に優先する植物プランクトン三種のメチル水銀取り込みの応答性の相違を明らかにしたことは、気候変動による海産物中のメチル水銀の動態を予測する上で重要な成果であり、今後の活用を期待したい。なお、作成されたモデルの妥当性を検証するとともに、今後の予測精度向上を期待する。

2. 採点結果

評価ランク：A